



Shinkoh News

——川口新郷工業団地協同組合——



第44回 日展(2012) マテーラの街角

マテーラ(イタリア・世界遺産)

古来より都市国家であったイタリアには独特の文化と魅力の街が多く、南イタリアにあるマテーラもその一つである。先史時代から岩をくりぬいて教会を始め全てが穴居であり、その重厚な存在感に圧倒され深い感動に浸りながら取材に取り組みました。

森 敬介(一水会会員 川口市在住 (株)モリチュウ)



2013 JAN. vol.81

発行日 / 平成 25 年 1 月 25 日 発行 / 川口新郷工業団地協同組合 発行責任者 / 石川義明 編集責任者 / 矢野 剛



川口新郷工業団地協同組合
理事長 石川 義明

組合顧問の新藤義孝氏も当選し、総務大臣に就任されましたことは誠に喜ばしいかぎりです。

新政権に期待することは多々ございます。外交関係、財政改革、円高、デフレ脱却、社会保障、少子高齢化など枚挙に暇がありませんが、とりわけ景気の回復を期待することとは言うまでもありません。

また、製造業にとって電力の安定供給および料金は大変重要な問題であります。一昨年は東日本大震災と福島原子

力発電所の事故により電力の供給が逼迫し、輪番制の導入など皆様には多大なご協力を頂いたところであります。引き続き昨年も東京電力株式会社からの節電要請をうけ、組合員の皆様には昼休み時間の変更、ピーク時間調整など協力していただきました。しかしこうした努力の

一方で13.8%という電気料金の途方もない値上げ要請を受けておりますことは残念で仕方ありません。しかもこの値上げは益々増大していくことが予想され、とても容認出来るものではありません。現在、官民挙げて節電や新エネルギー

新年明けましておめでとうございます。

川口新郷工業団地協同組合の皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より市政運営に対しまして格別のご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、合併一周年を記念して行った「川口宿 鳩ヶ谷 日光御成道まつり」では、多くの観客を迎え成功裡に開催することができました。これも貴協同組合をはじめ多くの企業の皆様のご支援ご協力の賜物と感謝申し上げます。

さて、本市では、産業界の実情を把握するために、昨年11月7日に川口商工会議所をはじめ市内の各種産業団体や金融機関など15団体の代表の皆様にご出席を



川口市長 岡村 幸四郎

の議論が活発化しておりますが、昨年7月から始まりました再生可能エネルギー買い取り制度は、電力を取り巻く環境を大きく変えて行くものと思われれます。共同受配電事業を基幹事業とする組合にあって、私達は今後のあり方を慎重に検討し、そして大胆に実行して行かなければなりません。その為に昨年10月、当組合の理事・青年研究会役員で構成する「自家発電及び新電源導入に関する検討会議」を発足させました。また英知を結集すべく、経済産業省資源エネルギー庁幹部職員、埼玉県産業労働部、川口市経済部、環境部、埼玉県中小企業団体中央会、および川口青年会議所の皆様をオブザーバーとしてお迎えし、それぞれのお立場から貴重なご意見を頂いております。この検討会議は自家発電設備、再生可能エネルギー導入の二つを柱に据え、月に一回のペースで開催しております。

いうまでもなく「電力」は組合の生命線です。また、導入する電源によっては震災時などには地元住民のライフラインとなるものです。組合員お一人お一人と地域の皆様のご意見もお伺いしながら、将来の社会・経済状況や技術革新を熟慮し、鋭意スピード感をもって検討を重ねております。

話は変わりますが、昨年恒例の「第6回ばんばん祭」を、川口市からの助成をいただき開催いたしました。各企業の従業員、家族、地元住民の方々等、来場者も約五千人と大いに賑わい、住工共生

の理念の下、大きな成果を上げております。大変光栄なことに、この地域活性化、社会貢献への取組みについて、埼玉県中小企業団体中央会より、平成24年度チャレンジ組合として認定されたことをご報告申し上げます。

ばんばん祭は今年もまた盛大に開催を予定いたしております。どうぞ皆様楽しみにしててください。併せて組合員、近隣町会の皆様にかかれましては、旧倍のご協力を是非お願い致します。

また、お祭りには歌津の皆様にもご参加していただいておりますが、引き続き「顔の見える長期の支援」の一環として宮城県南三陸町歌津地区を中心に東日本大震災の復興支援を展開して参ります。これからも「モノづくり」を続けるために、それを支える地域との共生を図り、技術力を向上させ、また組合内外の企業間連携を図るなど、川口新郷工業団地をもっともっと魅力ある工業団地にしたいと考えております。

結びに、川口新郷工業団地協同組合の皆様にとりまして、今年一年が心身ともに健全で、希望に満ちた実り多き年になりますよう祈念申し上げます。といたします。

いただいた「市内産業団体代表者との意見交換会」を開催いたしました。席上では、長引く不況に電気料金の値上げが追い討ちとなり、厳しい資金繰りが続いているなどの声や、「中小企業金融円滑化法」の失効後も引き続き市内中小企業者への支援を願う要請があり、改めて市内産業界の厳しい経営実態を認識いたしましたところでありました。こうした声に少しでも応えるため、市内の金融機関及び埼玉県信用保証協会に対して「中小企業金融円滑化法」終了後も、引き続き市内中小企業者を積極的に支援いただけるよう要望書を提出いたしました。また、電気料金の値上げに伴い、資金繰りが厳しい中小企業者を支援すべく、小規模事業者資金融資と中小企業運転資金融資の貸付利率を引き下げるとともに、自家発電機器や再生可能エネルギー機器を導入する中小企業者などに対して、より有利な資金融資が利用できるよう措置したところであります。

今後におきましても、「産業の振興なくしてまちの前進なし」との信念の下、市内産業界が活気を取り戻し、景気の回復が確かなものとなるまで手を緩めることなく、でき得る限りの対策を講じて参りますとともに、「住んでよかった」「これからも住み続けたい」と実感できる「ふるさと川口」の発展のため、誠心誠意、取り組んで参りますので、一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。



結びに、川口新郷工業団地協同組合の益々のご発展と組合員の皆様方のご健勝、ご繁栄を祈念申し上げます。年頭の挨拶とさせていただきます。

SIP 川口 2012 この一年



平成24年。東日本大震災から1年、未だ進まぬ復興。原子力発電の停止に伴う電気料金的大幅な値上げ、電気の使用制限。そして内政・外交での迷走、我が国固有の領土・主権に対する外国の挑発、デフレ問題、円高、少子高齢化、人口減少等々……。前年に引き続き、活路の見いだせない1年となった。しかし12月、政権交代により期待が高まっている。新郷工業団地の2012年。揚力とキールを必死に使い逆風に立ち向かう仲間たち。前へ、私たちのヨットは行く。SIP川口の一年を振り返る。

新春祝賀会 1月24日(火)

新春祝賀会(新工会館 82名参加)が盛大に開催されました。恒例の長寿のお祝い、永年勤続優良従業員の表彰、来賓として岡村川口市長、新藤衆議院議員、奥ノ木県議会議員、板橋市議会議員にご祝辞をいただきました。余興として、餅つき、浅草の若手芸人が出演し、参加者全員が楽しみました。



通常総会 5月23日(水)

第43期通常総会 組合員69名(委任状27人)出席。平成23年度事業報告・決算報告及び平成24年度事業計画・予算計画が上程され、満場一致で可決されました。(於新工会館2階ホール)



金属造形のカタチ 春山文典個展視察 7月25日(水)

組合の50周年記念事業として、組合のシンボルとなるモニユメント設置を企画しました。製作を依頼する横浜美術大学学長春山文典氏の個展(長野県小布施町)を視察しました。



埼玉県、川口市及び中小企業団体中央会との意見交換会 8月1日(水)

埼玉県は、工業団地や産業団体への支援を行うためのビジョン作成の為に、新工会館において意見交換会を行いました。この会議で、新電源等に関する検討会議設置が決まり、経済産業省、埼玉県、川口市、中央会等がオブザーバーとして参加することが決まりました。



新電源調査 4月12日(木) 9月4日(火)

東日本大震災による電気の使用制限・輪番停電等は、組合員の生産に大きく影響を与えました。さらに電力料金的大幅な値上げ問題に直面しました。組合は、安価で安定した電力の確保のため、再生可能エネルギーを有効に利用するための視察調査を実施しました。



- 4月12日(木) 写真1・2 石炭火力発電を行うサミット小名浜エスパワー(株)(福島県いわき市)
- 9月4日(火) 写真3 地中熱を利用した(株)アグリクラスターのヒートポンプシステムを使用する黒白洋蘭園(さいたま市見沼区・9月4日)
- 写真4 太陽光発電システムを使用する(株)MIKAMI(三ヶ島工業団地・所沢市9月4日)



【写真1・2】



【写真3】



【写真4】

第六回 ばんばん祭 8月19日(日)

近隣三町会、川口市観光物産協会、川口法人会第四支部と共催する「ばんばん祭」も六回目。地元川口の夏のお祭りとしてすっかり定着し、今年も参加者約五千人と年々盛況です。昨年引き続き宮城県南三陸町の歌津地区の皆様も参加され、塩害を受けた杉材で造られた「絆テーブル・ベンチ」や物販の販売を行いました。今年も「顔の見える長期の支援」として義援金を贈らせて頂きました。千葉県銚子市からも出展を頂き、模擬店、各種ゲーム、踊りやコンサート等、住工共生の理念の下、大きな成果を上げました。



**埼玉県アセアン訪問団で
上田知事と同行
8月20日～4泊5日**

県内中小企業の海外進出支援のために埼玉県が作ったビジネスサポートセンター。その開所式に向かう上田知事に同行しました。ベトナム・タイの政府関係者との会談や調印式にも立ち会い、ちょっとした要人気分を味わいました。各国の広大で先進的な工業団地を目の当たりにし、言葉を失う場面もありました。



**工業団地内の秋季合同清掃
10月16日(火)**

工業団地内の公園清掃を実施しました。組合員全社が参加し、「公園緑地」や「ゆうゆう歩道」を中心に、草むしり、ごみの撤去などを行い、ごみ袋50袋分を収集しました。



**中小企業団体全国大会
10月25日(木)～26日(金)**

第64回全国大会は、宮崎県フェニックス・シーガイア・リゾートのコンベンション・センターで開催されました。スローガンは、

「組合 絆 ルネサンス 日本は一つ」

議題は、
①地域産業の再生・発展への支援の強化
②東日本大震災からの復旧・復興の加速化
③組合等連携組織対策の強化



自家発電及び新電源導入に関する検討会議

- 第1回 10月18日(木)
- 第2回 11月22日(木)
- 第3回 12月7日(金)

第1回は、検討会議設置の背景を説明しました。また、国、県、市及び中小企業団体中央会の取組み等について、それぞれのオブザーバーから説明がありました。



第1回 検討会議風景 (新工会館 2F ホール)



第2回 検討会議 各種提案が行われた

結果を報告し、今後の審議事項等について意見交換をしました。

第2回は、各企業による自家発電及び新電源等の提案及び説明が行われました。



第3回 検討会議 三菱重工(株) 横浜製作所 金沢工場ロビーにて



第3回 検討会議 金沢工場内にて自家発電装置の説明を受ける

川口宿 鳩ヶ谷宿日光御成道まつり、歴史絵巻協賛 11月11日(日)

2000人が歴史絵巻を再現



全国でも初めてとなる將軍の日光社参行列が、川口市、鳩ヶ谷市合併一周年を記念して開催されました。組合から、社参行列に、大番頭、小姓、奴等、5名、警備に3名参加。28万5千人が歴史絵巻を堪能しました。



ボウリング大会 11月16日(金)



平成二十四年十一月十六日(金)
南平ランドボールにて参加者十九チーム・七十六名で実施されました。石川理事長の挨拶、始球式のあと二ゲームの熱戦を繰り広げました。上位成績は、次の通り。

- ◎**団体賞(敬称略)**
- 優勝 ランテック1
 - 準優勝 石川ドントコイチーム
 - 三位 石川バッチリチーム

- ◎**個人賞(敬称略)**
- 優勝 片野 照光
 - 準優勝 須賀 健一
 - 三位 滝沢 武征



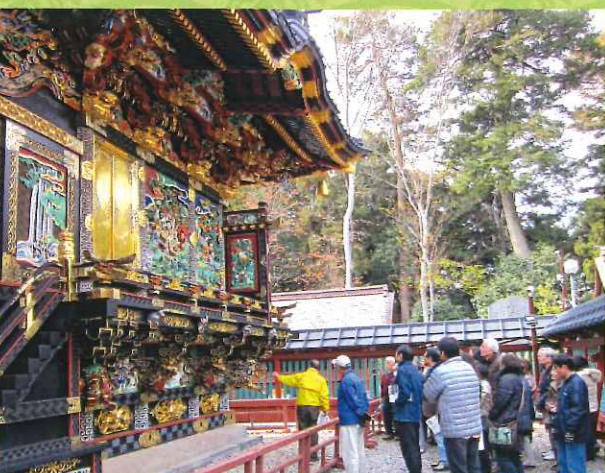
組合研修旅行 10月21日～1泊2日

当組合主力事業の「電気事業」を始めるに当たり参考とした、岐阜県金属工業団地を視察しました。組合運営上の情報交換、電気事業の問題点などについて意見交換を行いました。



ゆうゆう会 12月2日(日)

(快晴、肌寒い日曜、歴史と文化に触れる小旅行)
国宝に指定された熊谷市内の妻沼聖天山「歓喜院聖天宮」、本庄市児玉地区の即身院「百体観音堂」は、一周すると西国、坂東、秩父の百観音を巡れる「さざえ堂」を参拝しました。



おめでと〜ございます

☆長寿のお祝い

喜 寿

◇株式会社モリチユウ



森 敬介様

◇興栄工業クローム株式会社



鈴木 毅様

古 希

◇渡辺機工有限公司



渡辺善政様

◇アサヒ建材株式会社



細野哲雄様

☆永年勤続優良従業員表彰

『優良従業員』

株式会社明光社

山田 由美様 (勤続13年)

青木製缶工業株式会社

河村 晶子様 (勤続21年)

石川金属機工株式会社

片野 照光様 (勤続23年)

石川金属機工株式会社

渡辺 栄一様 (勤続24年)

石川金属機工株式会社

鈴木 敏男様 (勤続30年)

株式会社明光社

高橋 晴子様 (勤続42年)

『E-1賞』

川口板金株式会社

中里 光作様 (勤続5年)

川口板金株式会社

小川 翔平様 (勤続7年)



青年研究会会長挨拶



青年研究会会長
山口 基永

新年あけましておめでと〜ございませす。 青年研究会の活動に對しまして、組合員の皆様並びに執行部の諸先輩方の多大なるお力添えをいただいておますこと、会員一同心より感謝申し上げます。

さて、政権が交代し、長引く不況の中、新政権への期待感から昨年末より株価上昇、円安等わずかながら回復への光明も見え始めております。

このような中、私は昨年10月、「自家発電及び新電源導入検討会議」に青年研究会の代表として参加させて頂き、多くの事を学ばせていただきましたが、当青年部も、組合運営の生命線と言っても過言ではない自家発電及び新エネルギー導入のための調査研究を昨年に引き続き進めて参ります。

また、組合諸行事や他団体交流に積極的に参加するとともに、研修会等を開催し、会員相互の資質の向上を図ってまいりたいと存じます。

本年もご指導、ご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

結びに、皆様のご多幸とご発展をご祈念いたしました。新年の挨拶とさせていただきます。



平成二十四年度チャレンジ組合に認定

埼玉県中小企業団体中央会の賀詞交歓会の席上にて、当組合が「チャレンジ組合」に認定されました。

当組合の川口市の「緑の街づくり地域緑化モデル事業」への取り組み並びに、地域活性化に貢献する「ばんばん祭」開催が、他の組合の模範となると評価され、今回の認定となりました。



事務局新体制

事務局の体制が変わりました。



人子 奈
野下 金
野竹 子
事務局長
事務課
事務総

私達は自分の役割を考え、行動し、組合のお役に立てるよう一生懸命担当させていただきます。よろしくお願い申し上げます。